# 東京東村山ロータリークラブ





#### 国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は あなたの手の中に





Vol.43 第2093回例会

2009.9.17

## 今年度会長テー

## 「誠心誠意、和をもって」"事にあたろう"

私は月曜火曜日と青森に行きました。新幹線の車窓 から黄金色の波が始まっておりました。まだ1ヶ月

前には八戸で大きな屋台と子供達の太鼓を叩く姿を

見たばかりと思いますと季節の移り変わりの早さが 目に飛び込んでまいりました。こんな事がございま

す。新米を頂いている。炊飯器が炊く湯気の香りか

らして古米とは違いご飯は艶やかでふっくら、箸が 進みます。一口二口どころではない。お代わりをし たくなる。全国民が毎食、ご飯をもう一口食べるだ けで食糧自給率は1%上がります。新米の季節は一 口とはいわず、もう一膳は余計に味わいたいもので

す。瑞穂の国に生きる幸せ感に浸りたい、食品総合 研究所によると、ご飯のおいしさに最も影響するの

は、硬さと粘りのバランスで決まるテクスチャー(舌

触り)だそうです。新米はそれがいい状態で米は古 くなるほど硬くなり粘りがなくなり、脂質が酵素で 分解されて匂いを出します。それが古米の臭さ(ぬ か臭さ)だ。新米はそれがなく美味しい。新米に限 らず炊きたてなら尚更です。そこで学校給食にもそ の美味しさをと、小中学校に家庭用電気炊飯器を備

える事業を農水省が補正予算で組んだ。追加経済対

策だから炊飯器の需要増による経済効果ももくろん でのことだろう。だが既に一括炊飯の施設があるこ とや、何台もの炊飯器を同時に使うには電気工事が 必要なため手を挙げる学校が少ない。それなら、か まどと羽釜を整備して、たまには子供達が薪で炊い て食べることにしたらどうでしょうか。羽釜ご飯の 美味しさや生きる力を学ぶ教育効果もあることでしょ

**■**司会: 相羽例会運営委員



■会長報告

杦山会長

新米



■点鐘: 杦山会長

■合唱:ロータリーソング 「日も風も星も」

◆ソングリーダー: 野澤会員



■お客様紹介:野澤パスト会長

◆ゲスト: 所沢中央RC 畑中教一様



◆ゲスト:東京西南RC 山下邦康様



◆ゲスト:津久井RC 山本芳昭様

■クラブ管理委員会/中丸 繁男 野村 高章

■事務所/〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101 TEL 042-393-7500

■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30

■例会場/八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

### ■幹事報告

#### 高橋幹事



- ■ガバナー事務所: 地区バギオ基金委員会の卓話依頼
- ■地区RC財団: 世界平和フェロー第8期生オリエンテーション 開催のご案内 2009年10月10日(土) 14:30~ 於 渋谷のJICA地球ひろば
- ■武蔵村山RC: 第3回多摩分区連絡会のご案内 2009年10月7日(水) 16:00~ 於 パレスホテル立川
- ■地区国際奉仕委員会: (武蔵野分区·多摩分区)世界社会奉仕セミナー のご案内 2009年10月15日(木) 13:30~ 於 吉祥寺第一ホテル
- ■地区社会奉仕委員会: 第2回地区青少年育成委員会開催の案内 2009年10月7日(水) 18:00~ 於 レストランチャイカ(ロシア料理)
- ■ロータリー財団: ロータリー財団地区セミナー開催のご案内 2009年11月17日(火) 9:00(登録)
- ■地区社会奉仕委員会: 社会奉仕委員会の調査依頼
- ■地区情報委員会: 在京クラブロータリー情報委員会 テーブルセッションのご案内
- ■例会変更:

福生中央RC

例会場および例会変更のお知らせ

- ・例会場:9月16日(水)より料亭・幸楽園に変更・9月30日(水):東京福生RCとの合同夜間例会に変更 18:30点鐘 例会場(幸楽園)
- ■回覧:

当クラブがスポンサーとなっている、青少年交 換留学生の川野辺麻莉さんより初めての月間報 告書が届きました。

### ■出席報告

#### 土田例会運営委員



在籍会員数	出 席	免 除	欠 席	出席率
38	22	1	12	64.71

- ■前々回メークアップ修正後前々会欠席:5名
- ■前々回出席率メークアップ修正後:85.29%
- ■前々会メークアップ者: 北久保会員:所沢中央RC 中丸会員:理事会

目時会員:地区委員会 野村会員:日韓親善会議 戸澤会員:武蔵村山RC

#### ■ニコニコBOX 高橋クラブ管理委員



- ◆田中会員:宋慧珍さん卓話楽しみにしていました。一生懸命勉強され韓国・日本の 架け橋として活躍されますよう期待 しています。
- ◆畑 中 様: 久しぶりにお邪魔致します。お世話 になります。宜しくお願い致します。

本日のニコニコ合計: 3,000円 累 計 : 399,000円

### ■委員長報告

■小町青少年奉仕委員長



例会卓話の変更についてご報告いたします。10月 1日の例会は職業奉仕月間に因んでを変更し、青 少年健全育成の一環として「今の中学生に期待する」 と題した卓話を東村山市立7中野球部顧問梅原先 生にお願いしました。熱血先生で有名な先生です ので是非皆様出席してお聞き下さい。

■漆原米山奨学会委員長



昨日2580地区第1回会長エレクト及び米山委員長研修会に出席して来ました。開会挨拶及び委員の紹介のあと研修会が実施されました。

目的としては

- ①米山記念奨学事業の全般に関する知識・意義と 奨学生に対する理解を深める。
- ②クラブで米山奨学事業の月間行事(10月)プログラムの企画を促進する。
- ③米山奨学事業の広報活動と寄付の増進に努める。 という三点について勉強してまいりました。当ク ラブでは米山への理解をしていただく為に、来年 2月に米山梅吉記念館の見学を予定しています。

### ■卓話

■卓話者紹介: 漆原米山奨学会委員長



■卓話者: 米山奨学生 宋慧珍様



これから私は日本という国に対する私の思いを 話したいと思います。私が日本に来ることになっ たきっかけはお父さんの転勤でした。お父さんが 日本への転勤が決まった時、私は高校2年生でした。 最初からすぐ家族と一緒に日本に行きたいとは思 えず、いっぱい悩みました。もうすぐ大学の入試 を考えなければならないし、韓国にいる友達とも 離れ離れになる、特に日本語も全く喋れない状態 だったので、日本に住めるかという不安が大きく 怖い気持ちが大きかったです。しかし、よくよく 考えてみると、お父さん一人で日本で暮らすのを 考えるとかわいそうと思ったり、家族みんなが一 緒なら思うほど心配にならないと思いました。ま た、私が子供の頃から日本は韓国より先進国で技 術も高い国であるというイメージがあったので、 憧れはありました。お父さんが出張で買ってくれ たペンや計算機、ソニーのウォークマンなどなど、 考えてみると日本に行けば韓国よりもっと良い物 に出会える、また海外で暮らすという機会は今逃 すと一生来ないかもしれないと思うと、これは行 くしかない!!と日本への留学を決心しました。し かしながら、少し不安はありました。日本人は韓 国人を変な目で見ないかな。。。いじめられたり するのではないかと。。。

しかし、実際に日本に来てみるとそんな日本に安に日本に来てみるとのは来るとのはまた。一番驚いたの本にといるということでであるとのでまだ日本にというましたのではないにはないにはないにはないではないではないではないではないではないではないではないではないでであるというではないがあるというであるというであるというできらずである。ここを楽しもうと考えました。

それで、高校は韓国学校に通い大学を韓国か日本か少し迷いましたが、すぐ決断しました。やはり韓国より技術が進んでいる日本に来た以上、その日本の大学で自分のやりたい勉強をしようと考えたのです。もちろん、入学した当初は心配だらけでした。友達はできるか。。。授業に追いつけるか。。。など。。。

ちょっと大人しい性格であったため、自分からはなかなか日本人に話しかけることができ親したのもまた、外国人だからみんな私と親をしていると思っていると勝手に思い込み会えいました。私が韓国から来た日本人友達にとはしたのおはで、本にご飯をたべがあったはといて教えてもらったりと楽しい大学生活を送りいて教えてもらったりと楽しい大学生活を送りいて教えてもらったりと楽しい大学生活を送りいて教えてもらったりと楽しい大学生活を送りいて教えてもらったりと楽しい大学生活を送りいて教えてもらったりと楽しい大学生活を送りいてがきました。今もその友達とは同じ大学で別の研究室で研究しながら仲良くして頂いています。

私は日本に来てもう7年目になります。今思う とこんなに長く日本にいるとは思ってもいません でした。日本に来てから今までを振り返ってみる と、今の私は韓国人という感覚で生きているので はなく、まるで日本人のように生きていると気付 きました。現在妹と二人暮しをしていますが、妹 も社会人で平日だと話をする時間があまりありま せん。そうなると一日の殆どを研究室で過ごして いるため、一日に使う日本語と韓国語の割合は9 対1ぐらいになります。それで、常に自分は日本 人に囲まれて生活をしているので、いつの間にか 自分が韓国人である認識を忘れることもあるぐら いです。それに、同じ研究室の人からはソンさん は日本語がうまくて韓国人だと忘れるぐらいだよ。 もう日本人と同じだよ。。。と言われたこともあ ります。この言葉を聴いたとき私はむしろ、「あ、 私を別の世界から来た人だと思わないで、周りの みんなと同じ人として認めてくれてるんだ」と、 とっても嬉しかったです。

ろ今や韓国に行くといつも何か新鮮で日々変化している気がして、着いたとたんは私が子供の頃の韓国と違うので戸惑ったりもします。

この東村山ロータリークラブの皆さんに出会えたのも私が日本に居るからこそできた縁だと思います。私も皆さんのように将来には私にやってくださったのと同じく留学生達を支援できればと思います。また、日本と韓国両国においてそれぞれの国の良いことを伝えていき、今後も仲の良い国になるように繋ぎ役として活躍したいです。

■点鐘:杦山会長